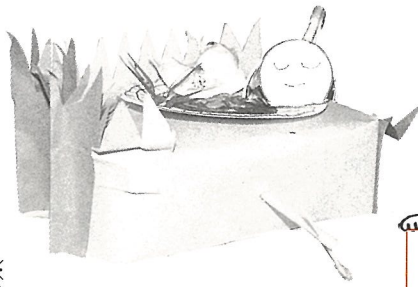




4年 前田真之介くん

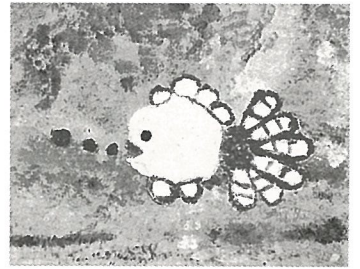


『きかんしゃやえもん』

※かざりや色つけや回転させるのも大変でした。しくみが、よくわかりました。



1年 土屋 佳穂さん



『きんぎょ』

※段ボール紙に紙粘土をはりつけて作りました。しつぽがよくなりました。

あつまれ みんなの 力作



5年 前田善之介くん



『アニメーションBOX』

※リンゴを追いかける様子をカードにしていくのが、難しかったです。



2年 伊藤 あんさん

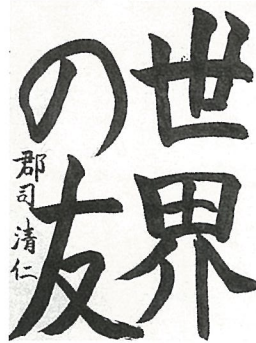


『かわいいロボット』

※スポンジをキユツとしたりわたをつかたりしてかわいく作りしました。



6年 郡司 清仁くん

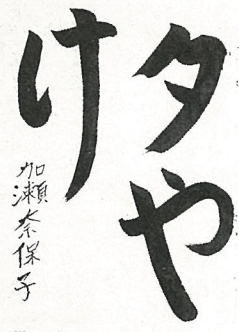


郡司 清仁

※「界」の字のらいが難しかったです。内容にふさわしくのびのびと書きました。



3年 加瀬奈保子さん



加瀬奈保子

※字のバランスをとるのがむすかしかったけど、何度も練習しうまくなりました。

ひかり俳壇



五月雨や深山にひびく鐘の韻  
越川せつ子(篠本)

五月雨に静まる比叡の山々に、延暦寺の梵鐘の音が弔って全山に靈気を感じさせる

臥す姉のかすかな躰青簾  
山崎 てい(二又)

病臥中の姉であることは他の作品から伺える。安らかな躰に安堵する作者。青簾が的確

訪えば母の声せしすだれ越し  
椎名 静子(二又)

実家を訪ねた作者は、簾越しに老母の元気な声を耳にして一瞬心が休まり、童心に還る

青簾越しの翠巒坊泊り  
布施 和代(二又)

物忘れしても息災青簾  
鈴木とし子(宝米)

母の夢欲しくて簾掛けにけり  
川島 重二(尾垂)

犬二匹引きつ引かれつ梅雨晴間  
伊藤 幸枝(尾垂)

童心にかえりて願う七夕や  
伊藤 雅子(尾垂)

短評 椎名しげる

評者吟  
梅雨の奇禍絶たれし人の名を見詰む